

福岡県保健環境研究所

概 要 紹 介

保健環境研究所の業務機能

保健環境研究所は、地域の保健衛生、環境行政を科学的・技術的側面から支える中核機関として、(1) 調査研究、(2) 試験検査、(3) 研修指導、(4) 情報提供等の業務を行っている。

また、当所は平成12年3月にISO14001（環境マネジメントシステム）を認証取得しており、研究所全体で環境改善に取り組んでいる。

(1) 調査研究

行政ニーズを基に、県民の健康と環境を守るための調査研究を行っている。取り組む研究課題は、所内の研究管理委員会、外部評価委員会（学識経験者8名で構成）及び県庁内に設けられた保健環境試験研究推進協議会の評価を得て決定される。平成18年度は、保健関係11課題、環境関係11課題の研究に取り組んでいる。

【調査研究課題】（一部）

- ・腸管病原性大腸菌の検出方法に関する研究
- ・ウイルス性食中毒検査法の開発
- ・鶏肉のサルモネラ汚染状況を改善するための基礎的研究
- ・ダイオキシン類のヒト健康影響に関する調査研究－油症患者ダイオキシン類追跡調査を中心として－
- ・福岡県感染症発生動向調査事業についてホームページを用いた情報還元方法の開発
- ・化学物質分析法開発調査
- ・大気有害物質削減技術に関する試験－高活性炭素繊維による大気浄化の実証化基盤研究－
- ・有明海に対する陸域からの汚濁物質解析とその挙動に関する研究
- ・循環資源有効利用技術の開発及びリサイクル資源の環境安全性に関する研究－焼却灰の有効利用技術に関する研究－
- ・福岡県における希少植物・群落の分布特性とその保全に関する研究

(2) 試験検査

保健、環境行政を推進するための科学的裏付けとなるデータ及び解析結果を提供する、いわゆる行政

検査と、飲料水細菌検査、温泉分析試験等、県民などからの依頼による一般試験検査を行っている。業務量としては、行政検査が全業務量の約6割を占めている。

【行政検査の例】

- ・感染症・食中毒の原因究明のための病原微生物の検査
- ・食品中の農薬・添加物・有害物質などの検査
- ・公共用水域の水質・底質、事業場の排水調査
- ・大気汚染測定車による環境大気調査

(3) 研修指導

保健福祉環境事務所検査課職員等に対する研修指導、講習会等への講師派遣を行っている。また、JICA研修生、臨床研修医や大学・高専からの実習生の受け入れを行っている。さらに、中・高校生や各種団体の研究所施設見学の受け入れも行っている。

【研修指導の例】

- ・衛生検査技術研修（水質検査研修、食品化学検査研修、微生物検査研修）
- ・環境保全担当者技術研修（サンプリング方法の解説、実習）

(4) 情報提供

研究所の業務概要、調査研究成果をまとめた年報を発行している。また、県民・関係者を対象に研究成果発表会を年1回開催している。さらに、ホームページ（<http://www.fihes.pref.fukuoka.jp>）や「保環研ニュース」（年3回発行）で保健・環境に関する情報をわかりやすく提供している。

【情報提供の例】

- ・「福岡県保健環境研究所年報」の発行
- ・「保環研ニュース」の発行

